



## 熱意

校長 五十嵐 圭一

時の経つのは早いもので、今年も生徒による「落ち葉掃きボランティア」が始まり、秋の深まりを実感する季節となりました。保護者、地域の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお察し申し上げます。

さて、この時期、3年生は進路選択、進路実現に向けて受験勉強の真っ最中です。受験勉強は、単に高校等に合格するために点数を取るためだけの勉強ではなく、義務教育9年間の総まとめ、高校等の上級学校で学ぶための準備、さらには将来の自分の夢を実現するための勉強ともいえます。「何のために勉強するのか」という素朴な疑問の答えが何となくわかってくるのもこの時期ではないでしょうか。



【落ち葉掃きボランティア】

本校では毎年この時期、進路指導の一環として、3年生の生徒全員と校長面談を行っています。わずか10分程度の面談ですが、生徒たちは、校長室というやや緊張感のある場所で、多くのことを語ってくれます。私は一人ひとりの生徒に「現時点での、中学校卒業後の進路希望を教えてください。」と問いかけます。生徒たちの多くは、単に高校等だけでなく、将来の夢についても語ってくれます。社会全体のために貢献する仕事をしたい、人とかかわる仕事をしたい、海外に行って地球規模の仕事をしたい、医療関係の仕事をしたいなど、おおまかな方向性を語る生徒もいれば、弁護士やエンジニア、作曲家、教師など具体的な職業名をあげる生徒もいます。共通していることは、私たち大人が考えている以上に、生徒たちは自分の将来について深く、真剣に考えているということです。身振り手振りを交え、目を輝かせて熱く語るその姿から、私自身、「**熱意こそ物事を成し遂げる一番の要諦**」であることを改めて学んだ気がします。

現在の中学生が成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展やAI（人工知能）の飛躍的な進化により、社会や職業の在り方そのものも大きく変化する可能性があることが指摘されています。このような予測困難な時代を生きる生徒たちには、さまざまな資質能力が求められますが、その根幹は何としてもやり遂げようとする「**熱意**」であると思います。卒業まであと約3ヶ月半です。3年生の生徒たちには、悔いのない進路選択をし、未来に向かって大きく羽ばたいてほしいと願っています。

保護者、地域の皆様に対しまして、改めて、今年一年のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、よい年をお迎えくださいますようお願いいたします。